デジタル技術を活用した持続可能な地域運行サービス実証（北海道岩見沢市）

まちづくり×交通

国土交通省

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
岩見沢市自動運転EVバス実証共創プラットフォーム
【実施主体】岩見沢市
【共創パートナー】
岩見沢地区ハイヤー協会（日の出交通株式会社）（交通）他

地域課題

人口減少や少子高齢化、産業の空度化、過疎化が進む農村地域など地方では大きな課題に直面し、また、交通事業者の人材不足等の影響から、医療や買い物などの生活の足の確保などついても、喫緊の課題となっている。

実証事業の内容

- 行政と交通事業者、市内事業者が連携し、持続可能な地域サービスを検討するため、自動運転EVバスを活用して、遠隔監視や地域MaaS、ニーズ調査などを実施し、データ集計・分析・検証を行う。
- 課題解決につながるデジタル活用によるサービスや地域資源・特性を活かした事業展開の整理や持続性の確保などの検証を行う。

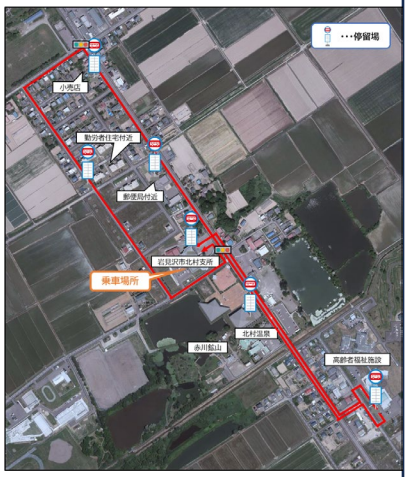
今後の展開

- 2024年度：地域MaaSや車内サイネージを活用した情報発信等の持続可能なサービスの内容について、ニーズ調査結果によるEBPMの評価検証を踏まえた実証を行う。
- 2025年度：2024年度までの実証を踏まえ、持続可能なサービスを実装する。

事業実施区域

○交通密集地域

○住宅地域



※引用元：国土交通省　国土地理院

事業体制

共創プラットフォームにて連携（協定）

岩見沢市自動運転EVバス実証コンソーシアム

◎事業主体

岩見沢市	㈱はまなすインフォメーション	エミプラスラボ合同会社
持続可能なサービス企画（地域MaaS、複合的サービス、地産地消エネルギー活用）、進捗管理、成果測定等	持続可能なサービス（地域MaaS等）企画・実証サポート、ニーズ調査、集計・分析ほか	持続可能なサービス（地域MaaS等）企画・実証サポート、事業周知等

◎連携企業等

岩見沢地区ハイヤー協会	株式会社マクニカ
運行サービスやMaaSの実証協力、課題分析等	運行サービスやMaaSの実証協力、課題分析等